

日本生体医工学会 平成 18 年度 第 2 回理事会 議事録

日時：平成 18 年 7 月 28 日 14～16 時
 場所：学士会分館 8 号室（東京都文京区）

出席者

会長	副会長		理事													監事		幹事		事務局	
土肥健純	楠岡英雄	佐久間一郎	安藤讓二	伊関洋	稲田紘	梶谷文彦	菊地眞	佐藤正明	千田彰一	田村俊世	千原國宏	林紘三郎	福井康裕	堀正二	三田村好矩	山本克之	星宮望	山口隆美	村垣善浩	神保泰彦	村上聡
			委任	委任		委任		委任				委任									

配布資料

平成 18 年度第 2 回理事会議題

- 18-2-2 平成 18 年度第 1 回理事会議事録案
- 18-2-3 平成 18 年度第 2 回理事会入退会審査対象者
- 18-2-4 第 12 回第 1 種 ME 技術実力検定試験結果報告
- 18-2-5 平成 18 年度会務分担
- 18-2-6 生体医工学編集委員会委員
- 18-2-7 広報委員会委員
- 18-2-8 国際委員会委員
- 18-2-9 ME 研究推進委員会委員
- 18-2-10 CE 委員会委員
- 18-2-11 生体医工学研究所設立準備委員会委員
- 18-2-12 教育委員会委員
- 18-2-13 選奨委員会委員
- 18-2-15 IFMBE/Asia Pacific Traveling Fellowship 報告
- 18-2-17 横断型基幹科学技術研究団体連合
- 18-2-18 第 46 回日本生体医工学会大会
- 18-2-19 平成 18 年度理事会開催日程
- 18-2-20 代議員からのご意見

議事

1. 理事会成立（総務：佐久間）
 定款に定める要件を満たしている（16/17）ことを確認して成立を宣言した。
2. 前回議事録案（審 総務：佐久間 資料 18-2-2）
 4.2 の「時期繰越金」の記述を「次期繰越金」に訂正して承認した。
3. 入退会状況（審 会員：千田 資料回覧）
 入会：正会員 16 名 準会員 10 名

退会：正会員 60 名 準会員 6 名 名誉会員 1 名 顧問 1 名
会員資格等変更：準会員 正会員 6 名 正会員 名誉会員 2 名 顧問 名誉会員 2 名
全入退会、資格変更を承認した。
この結果、現況は正会員（国内）2514 名、正会員（海外）42 名、準会員（国内）379 名、
準会員（海外）1 名、維持会員 20 社 30 口 顧問 9 名、名誉会員 46 名となった。

4. ME 技術検定試験（報・審 ME 技術教育：稲田 資料 18-2-4）
 - * 6 月 25 日実施の第 12 回第 1 種 ME 技術実力検定試験の結果が報告され、提案どおり合格者の認定を承認した。
 - * 前回理事会で報告された会計上の指摘に従い講師謝金に対する源泉徴収を実施したことが報告された。
5. 平成 18 年度会務分担（報・審 総務：佐久間 資料 18-2-5）
原案どおり承認した。
6. 編集委員会（報・審 編集：楠岡 資料 18-2-6）
委員構成を原案どおり承認した。
7. 広報委員会（報・審 広報：山本）
今年度の委員構成案未定のため、次回検討することになった。
8. 国際委員会（報・審 国際：堀 資料 18-2-8）
委員構成を原案どおり承認した。
IFMBE 総会への出席は予定していた佐藤、佐久間両委員の都合がつかないため、稲田、堀両委員が出席して対応することを承認した。
9. ME 研究推進委員会（報・審 ME 研究推進：三田村 資料 18-2-9）
委員構成を原案どおり承認した。
専門委員会の再構成、活動の活性化、会員増に向けて積極的に取り組む方針を確認した。
10. クリニカルエンジニアリング委員会（報・審 CE：稲田 資料 18-2-10）
委員構成を原案どおり承認した。
11. 医用生体工学研究所設立準備委員会（報・審 医用研：安藤 資料 18-2-11）
委員構成を原案どおり承認した。
12. 教育委員会（報・審 教育：田村 資料 18-2-12）
委員構成を原案どおり承認した。
13. 選奨委員会（報・審 選奨：林 資料 18-2-13）
委員構成を原案どおり承認した。

全ての委員会に共通の事項として、 <ul style="list-style-type: none">* 委員所属データの現行化* 委員構成の刷新、特に若手の積極的な採用* 会員増に向けた取り組み を意識して活動を進める方針を確認した。
--

14. 国際誌編集委員会（審 土肥）

現在休刊中の Frontiers of Medical and Biological Engineering については、休刊に至った経緯と IFMBE 国際誌の現状（電子化も含めて整備が進んでいる）を勘案し、前者を後者に統合して積極的に寄与する方向で進めることを確認した。

15. IFMBE Asia-Pacific Traveling Fellowship（報・審 国際：菊地 資料 18-2-15）

* 日本からの参加者募集・選考過程が報告され、報告どおり承認した。

* 前回理事会での決定に従い、IFMBE から得られる補助に上乘せする形で必要な支出を行う予定であることが報告された。

* 8月23日夕刻に、日本生体医工学会主催の歓迎会（東京大学山の上会館）を実施するので学会理事は可能な限り出席して運営に協力する方針を確認した。

16. 医療技術開発推進委員会（報 菊地）

産業界との連携に必要な環境整備に向けて、法整備も含めて検討する方針を確認した。

17. 横断型基幹科学技術研究団体連合（審 千原 資料 18-2-17）

組織の主旨と活動状況につき説明があった。

* 生体医工学分野の今後の方向性を考える良い機会である

* 現在生体医工学会が目指している方向との整合性は必ずしも明確でない

などの指摘があり、学会としての関与については継続検討課題とすることを確認した。

18. 第46回大会準備状況（報 佐藤 資料 18-2-18）

文書により「準備が順調に進んでいること」が報告された。

19. 平成18年度理事会日程（報 総務：佐久間 資料 18-2-19）

今年度第5回までの開催予定が提案され、原案どおり承認した。ただし、出席者の都合に合わせた若干の時間変更は可能なので、必要に応じて総務宛に連絡、調整するものとする。

20. その他

20.1 日本医学会用語代委員

代委員の推薦依頼があり、伊関理事を推薦したこと、用語集の改訂作業依頼があり、楠岡、佐久間、伊関3理事で対応することが報告された。

20.2 代議員からの意見（資料 18-2-20）

生体医工学会として意識している大切な問題が指摘されており、会長名で回答することが提案され、承認された。

20.3 協賛などの状況

回覧資料のとおり承認した。

20.4 生体電磁環境指針

病院内で携帯電話使用指針が現状明確でなく、病院ごとに対応が任されている。この問題につき、生体磁気環境専門別部会からガイドラインが出されたので、これを学会としてWEBなどで公開することは意義がある。具体的な活動につき今後検討する。

20.5 第47回大会の計画

次回11月の理事会での決定に向け、候補地の検討を進める。